

カープを愛し、ファンに愛された新井貴浩さんが 中国放送 解説者に



多くのファンに愛され、惜しまれながら現役を引退した新井さんが、今年からRCC野球中継の解説者として、新たな野球人生のスタートを切ります。

ラジオでは、「RCC野球解説者」、またテレビでは「RCCスペシャル解説者」として皆様の前に登場します。さらに、新開発のカープアプリにも出て頂きます。

「現役引退後はファンとして見守る」というご本人の言葉通り、選手に最も近い立場から暖かい目線と、勝負に対する厳しい視点を持ってカープの戦いを解説していただきます。

全身全霊でチームと後輩を愛し、カープを「家族のようなチーム」と表現した新井さんが、今度は「広島家族」を掲げるRCCの一員となって、カープの野球中継を盛り上げてくれます。

新井さんはカープ戦の野球解説について
「愛情を持って、全力でお伝えしていきます！」と意気込みを話しています。

RCCは今年、新井さんそして天谷さんという新しい解説者招き入れ、過去最多の5名の解説陣でファンの期待に応え、カープの4連覇を後押しして参ります。

【新井貴浩】

広島市出身。駒澤大学から1998年ドラフト6位でカープに入団。1年目から1軍入りし、3年目にはレギュラー定着、翌年はフル試合出場、オールスターにも選出され頭角を現す。2005年、自身初の3割となる打率.305を記録するとともに、43本塁打を放ちホームラン王を獲得。2008年FA権を行使し阪神に移籍。7年間阪神の主力として活躍。2014年阪神を自由契約となり再びカープに入団。2016年には史上46人目の2000安打と、史上42人目の通算300号本塁打を達成。その年チームはリーグ優勝しリーグMVPを受賞。40歳で迎えた翌年も、随所で活躍しリーグ連覇に貢献した。中でも、7月7日のヤクルト戦で9回表に代打で登場しバックスクリーンに放った逆転のスリーランホームランは「七夕の軌跡！」と言われる印象深い打席となった。現役引退の昨シーズンは63試合に出場、最終打席は日本シリーズ最終戦での代打。多くのファンに惜しまれて現役を引退した。